

各 位

2023 年 11 月 16 日
株式会社 山と溪谷社
<https://www.yamakei.co.jp/>

全国 4 箇所/4 団体を 2023 年度の日本山岳遺産に決定

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）と、同社が 2010 年に設立した日本山岳遺産基金は、2023 年度の「日本山岳遺産」を決定し、以下の通り発表します。

■2023 年度の日本山岳遺産認定地と認定団体

アドバイザリーボードの助言のもと、当基金事務局にて検討した結果、本年度は以下の 4 箇所/4 団体を日本山岳遺産に認定いたしました。

各認定団体には、本年度中に助成金を拠出するとともに、山と溪谷社の媒体を活用した広報支援を行う予定です。

山名・地名	都道府県	認定団体	主たる活動
安達太良山	福島県	あだたら山の会	登山道整備活動
朝日岳	富山県	朝日岳方面山岳遭難対策協議会 山岳救助隊	安全登山啓発活動 登山道整備活動
道宗道	富山県	道宗道の会	登山道整備活動 登山道を活用したイベントの開催
浅間山	長野県	特定非営利活動法人 生物多様性研究所あーすわーむ	生態系・環境保全のための調査活動

●安達太良山（福島県）／あだたら山の会

【山の概要】日本百名山、花の百名山に選定されており、多くの登山者を魅了する山。爆裂火口を中心とする優れた景観と国の天然記念物であるヤエハクサンシャクナゲやサラサドウダン、レンゲツツジなど多様な植物が自生する。

【認定団体】山岳愛好者が相互の親睦と健全登山の普及、技術の研鑽を目的として、1959 年（昭和 34 年）10 月に設立。四季を通じて安達太良山を登山するだけでなく持続可能な自然環境を後世に残すべく登山道整備などを実施している。

●朝日岳（富山県）／朝日岳方面山岳遭難対策協議会 山岳救助隊

【山の概要】朝日岳には多くの高山植物が自生し、地質学的にも貴重な岩石が見られる。文化、歴史も古く白馬岳から続く道と梅海新道により海拔 0m から 3000m まで続く特殊な山岳エリアとなっている。

【認定団体】1965 年（昭和 40 年）遭難事故が多発したことを機に、山岳関係者から遭難時の救助活動に迅速に対応できる山岳救助隊の設置を望む声が高まり、同年 12 月に遭難防止や遭難者の捜索・救助活動を目的に町をはじめ警察や山岳関係者により結成。

●道宗道（富山県）／道宗道の会

- 【山の概要】道宗道は約 500 年前の越中五箇山に浄土真宗の教えを広めた赤尾の道宗が月に一度、井波の瑞泉寺に詣でるために歩いたとされる標高 1000m 前後の尾根筋の山道。北アルプスの山並みや、砺波平野に広がるこの地域特有の散居村風景を楽しむことができる。
- 【認定団体】道宗道は長らく雑木に埋もれていたが、これを復興しようと 2008 年（平成 20 年）に有志が集まり道宗道の会を結成。荒れ果てた登山道の伐開や階段、案内標柱等を設置して古道「道宗道」を復興させた。

●浅間山（長野県）／特定非営利活動法人 生物多様性研究所あーすわーむ

- 【山の概要】浅間山は現在も活発な火山活動がみられ、古来より山岳信仰の対象でもある。標高 1000～ 2568m の広範な標高差を有し、森林は温帯林のミズナラ、ハルニレ、シラカバ等からなる広葉樹自然林、カラマツ天然林及びカラマツ等の造林地を主体とし、一部に高山帯、亜高山帯の植物群落を含む。
- 【認定団体】2010 年（平成 22 年）1 月設立。生態系および生物多様性の保全（野生動植物の包括的な保護管理）、人と野生動植物とのよりよい共存を通じた持続可能な社会づくりに貢献することを目指す。

※各団体への助成内容と助成金額については、申請内容を鑑みて現在、調整中です。

【日本山岳遺産基金】 <https://sangakuisan.yamakei.co.jp/>

日本の山々がもつ豊かな自然・文化を次世代に継承していくために、2010 年に株式会社山と溪谷社と株式会社インプレスホールディングスが設立した基金。「次世代育成」「山岳環境保全」「安全登山啓発」の 3 つをテーマに活動を展開しています。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。
さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。
さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

日本山岳遺産基金事務局 担当：永田
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング（山と溪谷社 内）
TEL03-6744-1900 E-mail: kikin_info@yamakei.co.jp
<https://sangakuisan.yamakei.co.jp/>